



みやまえ



「宮前九条の会」第20回学習会

憲法九条を守ろう！ この一点で集まる宮前区市民の会



「65年目の8月15日」

戦争、平和そして憲法を大いに語ろう

第1部：加藤周一さんの残した言葉(DVD)

第2部：参加者の自由な話し合い

終了後、場所を変えて“暑気払い”を開催します。是非、ご参加ください。

2010年8月15日(日)

宮前市民館 第4会議室

午後2時～4時半

会場カンパ：300円

今年も8月15日を迎えます。

戦争が終わって65年、戦争を知らない世代が圧倒的な多数になっています。先日お亡くなりになった井上ひさしさんの名作「父と暮らせば」の中に、一人生き残って自分だけが幸せになれないと結婚に踏み切れない娘（美津江）に、幽霊となって出てきて娘を励ます父（武三）が次のように言うシーンがあります。

武三 わしの一等おしまいのことばがおまいに聞こえとったんじゃろか。「わしのぶんまで生きてちょんだいよオー」

美津江（強く頷く）・・・

武三 そいじゃけえ、おまいはわしによっていかされとる。

この武三の言葉は現在に生きる私たちに向けられた言葉ではないでしょうか？

<第1部：加藤周一さんの残した言葉>

加藤周一さんの2006年12月8日、東大駒場キャンパスで行われた講演会「老人と学生の未来 - 戦争か平和か -」のDVDを視聴します。

この講演は歴史の長い過去を、透徹した知性で見通してきた加藤周一さんの、世代を超えた「歴史的対話」として非常に注目されたものです。

連絡先：044-855-8896（若原）

宮前九条の会ホームページ <http://miyamae9.web.fc2.com/>
携帯サイト（PC可） <http://fhp.from.jp/miyamae9/>